

同志社大学

2013年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2013年 3月 13日提出

所 属	職 名	氏 名
GC 学部	准教授	Bettina GILDENHARD
研 究 題 目	・移民国としてのドイツ ・日本における「多文化共生」、ドイツとの比較	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2012 年から同志社大学（言語文化教育研究センター及びグローバル地域文化学部）の研究会補助を受けて、石井香江先生（GR 学部・准教授）と渡邊紗代（GR 学部・嘱託講師）と一緒に取り組んでいる共同研究（「移民国ドイツ」をめぐる学際的研究会）の成果として、次の論文を発表した。</p> <p>論文 渡邊紗代 / 石井香江/ ベティーナ・ギルデンハルト (共同執筆) 「多文化社会における「文化」の政治学と教育—ドイツにおける政治的言説を中心に」 『GR—同志社大学グローバル地域文化学会 紀要—』(Doshisha Global and Regional Studies Review)、第2号で (2014年3月)、89-137 頁</p> <p>さらに、下記の四つの講演を頼まれ、研究成果の一部を発表する機会を得ました。</p> <p>口頭発表 2013年5月12日 「国際交流とは何なの？」 京田辺市国際交流協会総会</p> <p>2013年10月13日 「反面教師それとも手本? — ドイツにおける移民政策 —」 京都 AALA (アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会)、秋の公開講演会</p> <p>2014年2月19日 「多文化共生とは何なの？」 城陽市新日本婦人の会宮ノ谷班の国際問題例会</p> <p>2014年3月1日 「移民国・ドイツ — 女性の立場はどうなっている?—」 城陽国際女性デー (城陽市母親連絡会)</p>	